

議 長	質問順位2番 6番議員 上田丈二議員。
議 長	上田丈二議員。
上 田 議 員	おはようございます。では通告に基づいて質問をいたします。 最初に和木町の行事、及び美術館の活用についてお尋ねいたします。 新型コロナウイルス感染症もまだ完全に収まった訳ではありませんが、私たちの日常生活にもようやく落ち着きを取り戻してきました。 和木町内の行事も増えてきて、町民間での交流も活発な動きが出てきて嬉しく思っているところです。 去年は、町内での盆踊り大会が開かれ賑わいを見せ、年末には第9の合唱を100人を超える人数で行うなど、今年に向かっての希望をもたらす意味で良かったと思っています。 今年はさらに行事数も増え、自治体での行事も増えてつあります。 今年も残り少なくなりましたが、教育委員会での町内行事はどのような計画があるのでしょうか、伺いたいと思います。
議 長	松井教育委員会事務局長。
松 井 教育委員会 事 務 局 長	それではお答えいたします。 今年度の教育委員会及び施設を利用する主な行事といたしまして、まず10月6日和木町総合防災訓練、これは中学校の体育館及びグラウンドで行われます。それから11月3日わき愛あいフェスティバル、中学校のグラウンドでございます。それから11月12日和木町教師の日、文化会館で実施です。11月15日公民講座といたしましてオーロラ講演会、こちらの方を文化会館で開催予定となっております。それから

令和 6 年第 4 回(9 月)定例会

11月30日、小学校の開校150周年を記念した記念式典、こちらの方を小学校の校舎、小学校で行うこととしております。また美術館で開催されるものとしたしましては、10月5日からキッズフォトコンテスト、10月28日から文化祭の展示会、11月12日から和木小学校150周年を記念した展示会、こういったものを開催する予定としております。

議 長 上田丈二議員。

上 田 議 員 ありがとうございます。まだたくさんの行事を予定されてるとのことで期待をいたしております。よろしくお願いします。
続いての質問に移らせていただきます。

夏休み中の子ども達や、小さなお子さんを対象にした催しが開催され、沢山の町民の方や近隣の方々も来られて賑わい、盛況をみせていました。

夏休み中の美術館の行事について伺う予定でしたが、議会初日に町長の方から行政報告で説明頂きましたので、次に行う予定の質問は割愛をさせていただきます。

町長の行政報告では、7月30日に、かず先生による『わくわくサイエンスショー』では353名が来場し、美術館イベントで子供向け展示を16日間開催され『ダイナソーVRワールド』では来場者2,163名『ワキテンボスVRワールド』でも2,336名と沢山の方が来られて楽しんでおられて、夏休みの思い出作りや子供たちの居場所づくりができたのではないかと考えているとありました。

私も美術館のイベントには、両方を見に行かせて頂いて様子を伺い、親御さんが楽しそうにお子さんと一緒に遊んでおられるのを見て微笑んで楽しんでまいりました。

以前より趣向を変えて、美術館を活用されて楽しめる企画を催されていると感じております。

この美術館の活用ですけれども、町内には小さなお子さんを含めて天候に左右されず、安心して遊べる場所が殆どない状況

です。

お子さんの成長に遊びの要素は大変重要だと思っております。家の中だけで遊んでいるのは成長の妨げだと思っております。

前々から和木町の子育て世代の方を中心に、子ども館のような子ども達が安心して遊べる場所が必要だと、同僚の議員もこれまでも提議をしてきてまいりました。

和木町の財政も段々と厳しい状況になりつつありますけれども、将来の子ども達の為にも子ども館のような場所づくりが重要ではないでしょうか。

また、子育て世代の方達のニーズに応える政策がより良い住みやすい環境を作り、人口減少の対策にも繋がると思います。それに付け加えて、美術館の活用状況は決してよいとは言えません。

質問ですが、思い切って子どもさんや子育て世代の方達が自由に使える場所として解放することが、和木町の財産の有効利用になるのではないのでしょうか。美術館の活用について考える事はできないのでしょうか。伺いたいと思います。

議長 松井局長。

松井教育委員会事務局長 はい、上田議員さんがおっしゃられた子どもの居場所づくりとても大切だと思いますが、まず美術館の状況についてちょっとご説明をさせていただきます。

美術館につきましては、コロナウイルス感染症が5類になって以降、徐々にコロナ禍前の活用状況に近づいております。

今年度は、先ほどもお答えしましたようにキッズフォトコンテストや文化祭展示会、これに加えて、教育委員会の主催により、小学校開校150周年記念の展示を行う、こういったことを予定しております。美術館では、これまでも、障がい者の展示発表会、講演会、セミナー、音楽演奏会、文化協会の所属団体の体操教室、一般利用のダンスサークルの利用、民間会社

の商品発表会など様々な目的で利活用をされてきておるところでございます。

今後も、美術館は、発表の場、学習の場、交流の場として利用していただきたいと考えておりますし、もちろん、子育て世代の方が交流イベントを開催されるということであれば、またこちらの方は歓迎させていただきたいと思います。ただし、施設の特性上、飲食等の制限、こういったこともございます。ルールの範囲内でのご利用をお願いしているところでもございます。

先程の「思い切って」という文言ございましたが、美術館を現在の利用状況、利用方法から、常時子育て世代の方が自由に使用するために開放するという意味合いであれば、この施設のこれまでの利用状況、利活用の方法、そういったことから、美術館においては困難であるというふうに考えております。以上です。

議長

上田議員。

上田議員

まあ常時開設というのは今のところは困難であるという答えだったと思うんですけども、今すぐには無理だと思うんですけどもですね、今ある施設の利用活用ですね、そういったもので、どうしても和木町の中には子ども館とか天候に左右されず遊ぶ場所っていうものが今ない状態ですので、そういった意味合いで今後考えて頂きたいということなんですけれども、民間の事業所を迎えて運用を委託することが出来れば、予算や人員についての見通すことが出来易いのではないのでしょうか。

2年前に議員研修で香川県の宇多津町に行った際に、宇多津町南部の子育て支援の拠点として、また地域の交流施設の「南部すくすくスクエア」を研修いたしました。この事業所は地域子育て支援拠点事業として乳幼児と保護者の遊びや支援と交流の場があり、放課後児童健全育成事業の放課後児童クラブ、そしてカフェ事業と、多様性、利便性にすぐれた施設となって

令和6年第4回(9月)定例会

いました。この「南部すくすくスクエア」の運営を全国的に子育て支援事業や放課後事業を展開している(株)明日葉が事業展開しておりました。明日葉のような民間業者であれば事業展開や運営にたけているので、色々な活用も検討できるのではないかと思います。また開設時に国からの補助金、地方創生拠点整備交付金や地方創生推進交付金を活用し、事業費の半額をまかなっておりました。人材不足、事業資金、管理運営体制などの問題解決にこういった事例を参考にして検討できないでしょうか。再度町長に伺いたいと思います。

議 長 米本町長。

米 本 町 長 上田議員のご質問にお答えいたします。

さすがに再質問が最初の話と全然違っておりましたので、違う答えを用意してたかもしれませんので、その辺はご容赦いただきたいと思います。

先程、美術館の活用状況は良いとは言えませんがというふうにおっしゃいましたけど、私自身は結構な頻度で使われているのではないかなというふうに思っております。美術館、活用するとなりますと、必ず人をつけないといけないとか財政上の問題もありますし、十分な活用ができてるとは言えない事もないんじゃないかなというふうに思っております。また民間業者に委託をしてというお話だったと思うんですけども、今現在和木町ではその民間業者に委託はしていませんが、まずは先程担当課の方も、課長の方も言いましたけども、まずは美術館の建設した目的ということから著しく逸脱する事は、私は良くないことではないかなというふうに思っております。先程例に挙げられましたその市なり町なりでは、他にそういう所がなかったのでしょうか。そこは私はわかりませんが、和木町にはまだまだ他に同じようなところがたくさんございます。ですからわざわざ美術館を使う必要、意味があるんだろうかという疑問がございます。ですから当座のあいだ美術館の方はこれまでと同

様の使用でお願いをしたいと思います。

なおですね、例えばある業者さんが展示会をやりたいとかっていうことであれば過去にそういうことがございましたので、そういう目的であれば使用できると思います。

また先程課長も言いましたが、子ども向けイベントを保護者の方たちが企画をしてやられるっていうのは大歓迎で、どんどんと使用していただければというふうに思っておりますのでご理解いただければと思います。

議 長

上田議員。

上 田 議 員

はい、町長の方から美術館だけがそういった対象になるのかということだったんですけども、今年の夏休みのイベントですね、を見さしていただいてたくさんの方が来られている、小さなお子さんが来られている、そういった本当に和木町にとってそういった施設がないことが、やっぱりこういったたくさん子どもさんたちが押し寄せてこられたんではないかなというふうに感じたものですからですね、美術館の活用も常時開設すれば新たな建設費用とかそういうものも負担が少ないのではないかなという形で、今回は美術館を対象にさせていただいた訳なんですけれども、今後も他に幼稚園の跡地とか保育園の跡地、そういった跡地活用も考慮してこれから議会の方も、中でも考えさせていただいて、また議会の中でも考えさせていただいて、提案をこれからもして参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続いての質問に移らせていただきます。

蜂ヶ峯公園の管理体制について伺いたいと思います。

先程も言いましたけれども、今年に入り新型コロナウイルス感染症もまだ完全に収まったとは言えませんが、全国的には行楽や観光も増えてきているようです。今年の蜂ヶ峯公園の利用状況について伺いたいと思います。

議長

山下都市建設課長。

山下都市建設課長

はい、蜂ヶ峯公園の利用状況について、昨年と今年の、まあ比較という形でお答えさせていただきます。有料施設の利用者数となりますが、昨年の4月から8月までの5カ月間の利用者数は47,029人、今年の同5カ月間の利用者数は37,294人でございます。

利用者数の減少につきましては、繁忙期である5月の天候不良やその後の猛暑といった天候の影響に加え、6月後半より、観覧車の不具合により運転を停止していたことが要因と考えております。

議長

上田議員。

上田議員

理由についても一緒に答えていただきましたんで、次の予定した質問はちょっと飛ばさせていただきますして、まあいろんな理由があるということで、1万人ほど減少、16,000人ですかね、減少したってということなんですけれども、以前よりも指摘しているんですけれども、公園内の管理、特に雑草除去に問題があるように感じております。公園の玄関になるバス停周辺、公園内、道路脇、特にバラ園の雑草がひどい状況です。せっかくのバラが雑草に埋もれて見えない状況になっておりました。

それに付け加えて公園内の施設、特に冒険の森のフィールドアスレチックがまだ修理できておりません。キャンプ場も荒れたままで、再開や他の活用方法にするかまだ決まってない状況なのではないでしょうか。

このような事から、現状の管理体制に無理があり問題なのではないかと思うのですけれども、どのように受けとめていらっしゃるのか伺いたいと思います。

議長

山下課長。

山 下 都 市
建 設 課 長

蜂ヶ峯公園管理体制についてということでございますけれども、まず蜂ヶ峯総合公園の管理運営につきましては、今年度から 3 年間、一般財団法人和木町蜂ヶ峯総合公園管理協会を指定管理者といたしまして委託しております。現状、管理運営においてですね、問題があるとは考えてはいないという状況でございます。管理協会におきまして、令和元年度にも職員を採用して増員をしておるところでございます。

ご指摘のバラ園の管理につきましてですけれども、管理協会におきまして、見頃となる時期に合わせて除草作業を行っており、今年度についても除草費の増額の方もしておるところでございます。

そうした中におきましても、バラ園を含めた公園全体について、雑草繁茂についてのご意見、ご指摘等を頂くこともございますけれども、その都度、管理協会の方と連絡を取り、協議しながら対応しておる状況でございます。

施設や設備の老朽化につきましては、町としても苦慮をしておるところでございます。上田議員ご指摘のフィールドアスレチックについてですけれども、こちらの方は年次的な修繕で対応しておるところでございます。今年度の修繕もちょうど今終わったところでございます。

他に、ローラーすべり台のローラーの交換ですとか、ミニ S L の保線作業などは管理協会の職員が直接おこなっておるといふ状況でございます。

議 長

上田議員。

上 田 議 員

除草作業に対しても努力はされているということなんですけれども、やはり資金と人材不足というもので、なかなか全体的な、総合的な計画ってのは出来ないんじゃないかと思うんですよね。Bee+とかで行事とかやられているんですけれども、総合公園自体を活用した大きな形での行事というのも少な

いと思うんですよね。そういった意味で、蜂ヶ峯管理協会と地域振興協会に分かれて運営されている状況を1つにして、すっきりした形で全体の管理や人員の確保をして、将来に向けた健全な運用を目指して計画をたてるのが、今の状況を改善する最良の手段ではないかと考えるんですけれども、いかがでしょうか、伺いたいと思います。

議

長

課長どうですか。いいです。えっ、どっち。じゃあ米本町長。はい、どうぞ。

米 本 町 長

まずは、議員の皆様方には蜂ヶ峯公園バラ園の草抜きにボランティア活動して頂いておりますことに、協働のまちづくりを推進しております和木町として心より感謝を申し上げたいというふうに思います。

それでは上田議員さんのご質問にお答えをさせていただきたいと思います。

蜂ヶ峯総合公園は、町が蜂ヶ峯総合公園管理協会を指定管理者として委託しており、Bee+エリアは管理協会の所有施設となっております。

その所有施設を、地域振興協会と株式会社メイプルシティに委託して運営をしておるという状況でございます。

当然どこまでを責任範囲とするかの業務内容はしっかりと区別をされておりまして、特に不明な点、または運営に支障をきたすような重大な問題はないというふうに考えております。

これまでも同僚議員の方々から同様の質問を、委員会や一般質問でお受けをしてきたところでございますけれども、ただただ一つにしたらどうかだけのご質問でございまして、具体的な事柄というのはあまりですね、先程一例挙げられましたけれど、触れられてないように思ったところでございます。

今の状況を改善する最善の手段と言われますけれども、まあ具体的にどこが問題であって、管理協会を一元化することによってどのように改善できるかということが、お示しをいただいて

おりませんので、はっきりしたことはいえませんが、もちろん私としても改善する余地はたくさんあると思いますが、それは現状のままでも可能ではないかというふうに考えているところでございます。

公園全体が広いため多くのところに手が届かないということは事実でございますけども、それは先ほど議員も申されましたとおり、財源不足・人材不足、まあ人手不足の状況が原因であるというふうに思っております。

しかしそれはどこの職場でも同じでありまして、皆それぞれ工夫をしながらやっけていただいている、運営していただいている状況で、もちろん蜂ヶ峯の職員の皆さんも頑張ってくれているのではないかというふうに思っています。

それから運営を一元化することで、確かに効率が上がる部分っていうのはあると思いますけども、私が思うのに決定的にちょっと違うかなと思うのは、民間活力の応援、また地場業者の育成、まあ今では育成というよりもいかに留まって頂けるかというのを考えている状況ではございますが、それが無いのではないかというふうに感じております。しっかりと地場にも関わっていただけて公園を盛り上げていただく、これが大切な事ではないかなというふうに思っております。

今、管理協会と地域振興協会を一元化をしても、これまでのような数多くのイベントを仕切っていく事は、現体制に人を増やしたとしても、一朝一夕には出来ないのではないかというふうに私自身は思っております。

それに比べまして、この前も地域振興協会の方々は、自費でもって恵庭市の観光協会や商工会議所に、新たな賑わい・魅力づくりを求めて訪問されたとのことでございます。今、一生懸命また賑わいを創ろうと頑張ってくれています。

これは蜂ヶ峯公園だけのために行かれたのではないかも知れませんが、いずれは公園の活性化に繋がっていくものと私自身は確信をしているところでございます。

以上のことから、今現在において、一からまた手探りとなり

ます一元化を、今現在考えるつもりはございません。

ただし、具体的に上田議員さんが「こうすれば、ここが改善できるじゃないか。」ということがございましたら、どしどしとお申し出いただければというふうに思っております。現体制の中で検討していきたいと思いますので、お伝えを頂ければというふうに思います。

その辺のところをご理解を頂きたいというふうに思っております。

議 長

上田議員。

上 田 議 員

はい、丁寧に答えていただきまして、僕等も議員として管理体制の専門家ではありませんので、こういった形でそれが一番良い方法なのかというのは、今すぐにそういった手順とかはお答えすることができないんですけれども、ただ今の形のままで管理協会の人たちに聞いても、人材不足や資金不足の中で雑草除去、それから修理、改善、なかなか進まないんだということも聞いております。やっぱりそういった形で資金不足、そういったものが2つに分かれている、そういったことが問題なんではないかなっていうふうな形を私たちは捉えたわけでして、その中でこれからも改善をしていって、そういった問題を改善して、和木町のこの大事な観光の目玉であり、大事な財産である蜂ヶ峯公園の運営を継続して運営していただけるようであれば、私たちも問題ないと思っております。

ただあまりにもですね、雑草の状況、和木総合公園広いんですけれども、なかなか手が回らない、ですけどもせめてですね、やっぱり入り口のバス停、それから道路近辺の除草、こういったものはやはりもう少ししっかりやって欲しいなというふうに思っております。

それから Bee+だけじゃなくて総合公園にある元からの施設、こういった物をちゃんとして整備して活用していただきたい、そういうふうなことをお願い申し上げて質問を終わらせてい

議

長

ただきます。

はい。再質問ないですね。

議

長

再質問がないようですので、以上で上田丈二議員の一般質問を終わります。